

上越市の「地方分権自治」

日本共産党鶴岡市議団は10月17日、新潟県上越市の「地域分権自治の取組について」研修しました。

広大となった合併市の中で、各地域の課題を解決しようとするなら、上越市の地域自治区の制度は理想的です。

上越市は、平成17（2005）年1月、13の町村を編入合併し、合併特例法による地域自治区の制度を、全国初めて導入しました。

意見書を市長に提出

13の旧町村と、昭和の大合併以前の15区域をあわせ、28地域自治区があります。

各地域自治区には、地域協議会と事務局を置き、委員（12～20人）は公募公選制です。

協議会は、概ね毎月1回開催され、自主的に選んだテーマの審議の他、市長からの諮問事項について審議し、意見書を市長に提出し

ます。

地域協議会の意見は、市長の判断により、市政運営の中で実現されます。

鶴岡市の場合、旧町村に地域振興懇談会が設置され、開催は通常年2回程度で少なく、今年度は総合計画見直しの関係で4回ですが、懇談会の性格上、意見交換と協議のみで、権限は不明確です。

委員から意見が出されても、検討状況や実現可能性は見えませんが、上越市の場合、協議会から出された意見は特に重要で、「地域分権自治」が確立されています。

上越市の地域協議会の運営に係る予算は1300万円で、鶴岡市の地域振興懇談会運営事業177万円と大きな開きがあります。

自治区から予算要求

上越市は地域独自の予算を総額1億8千万円、各自治区に配分してきました。

令和5年度からは、地域独自予算が本所各課と同様に予算要求され、議会議決を経て、補助率を7割・上限無しで、地域に必要な施策が実現されます。

上越市の地域協議会委員は8割以上が手挙げし、責任ある代表に

■地域協議会の委員の選任方法

- 公募公選制に基づき市長が選任（任期4年）
 - ・区の住民からの公募（定数各区12～20名の全部を公募）
 - ⇒ 定数よりも多かった場合は、選挙結果を尊重し選任
少なかった場合は市長が選任
- 委員は無報酬（交通費相当額1,200円は支給、市の非常勤特別職）

■「公募公選制」は・・・

- まずは意欲のある人に手を挙げていただき、地域の皆さんから選んでいただく方法
- ・地域の意見ととらえるため、一定の代表性を担保する仕組み
- ・委員の選任を実質的に地域に委ねるというもの

《これまでの公募の状況》

公募時期	応募者/委員定数	充足率
平成17年1月（13区）	189人/192人	98.4%
平成20年3月（13区）	145人/192人	75.5%
平成21年9月（15区）	128人/224人	57.1%
平成24年3月（28区）	305人/416人	73.3%
平成28年3月（28区）	319人/390人	81.8%
令和2年3月（28区）	321人/382人	84.0%

ふるさと賛歌 12

鈴木重雄（八色木）

朋友を悼む

朋友本間勇さん（96歳）が10月27日、黄泉の旅に出た。彼は私と同じ昭和一桁生まれで、4カ月先輩である。

彼は昭和2年6月、平形の本間家の6男として生まれた。

日本の帝国主義、軍国主義に洗脳され、無断でハンコを持ち出し、軍隊に志願した。

昭和16年12月、大東亜戦争（太平洋戦争）が開戦し、戦時体制となり、鶴岡中学（鶴岡南校）2年生のとき、志願兵として山形連隊に入隊した。

親は、2人の兄も徴兵され戦死されたので、残って家を継いで欲しかったと思うが、世間

に憚り反対も出来なかつたろうと思うと、心中察するところである。

陸軍士官学校（小学6年卒業入學）もあつ

たが、早く戦地に行きたかったので、普通の徴兵検査（満20歳）に

志願兵（14歳）として検査を受け、入隊した。

昭和18年10月、山形北部18部隊に入隊し、満州黒河省歩兵7232部隊に入隊し、やがて昭和20年8月、終戦となった。

まさにソ連抑留のために志願したようなものであった。

抑留生活5年であった。昭和24年9月、祖国日本へ、平形に帰宅した。

帰還後は、各種の会合や講演会に頼まれ、戦争のむなしさや、平和の尊さを語った貴重な存在であった。

シベリヤの飢えと寒さに耐へし夫の思い哀しき服を陽に干す、妻



（昨年8月16日に「鶴岡市平和のつどい」が市中央公民館で開かれ、本間勇さんが、シベリア抑留の戦争体験を語り、平和の大切さを訴えました。）

ふじしま秋まつり 鶴岡ごはん日本一

「ふじしま秋まつり」が12日、藤島体育館で開催されました。

寒い雨天となりましたが、駐車場が満杯となる大勢の観客で賑わいました。

「第2回鶴岡ごはん日本一」では、最優秀賞に南陽市の青木博則さん（31）、優秀賞に宝徳の加藤翼さん（35）、優良賞に三川町押切新田の齋藤学さん（43）が決まりました。

「鶴岡ごはん日本一 決勝大会」（齋藤久・実行委員長）は、就農10年未満の若手農業者を元気づけようと、昨年からは応募を県内に広げ、34人がエントリーし、食味分析機器による一次審査と、地元料理人による2次審査を経て、8人が最終審査に残りました。

会場では、約100人の一般審査員が「一番おいしい」と思ったご飯に2票ずつ投票し、その結果、「ミルキークイーン」を出品した青木さん（47票）が最優秀賞となりました。

最優秀賞には、寄付企業・団体のステッカーが貼られた新車の軽トラックがプレゼントされました。

優秀賞は加藤翼さん（36票）の「つや姫」で動力散布機、優良賞は齋藤学さん（32票）の「つや姫」で草刈り機が贈呈されました。加藤翼さんに水田を委託している加藤鉦一議員は、「鶴岡市ではトップであり、本人の頑張りが、熱波の異常気象下でも成果をあげた」と、喜んでいます。

（上左・昨年度の最優秀賞の軽トラック）



（柿の皮むき大会）



（食の出店も賑わい）



（伝統の藁文化も）

東田川史跡物語 『駐蹕之碑』⑥

青山 崇

遂に行幸の御休所（臨幸）になるという好意を受けることになった。天皇が我々を安心させる（撫下…ぶげ）恩であり、郡民の天皇へのまごころ（誠）が相通じて（相得）、益々深くなり、霑（しずく…雫）が広大なもの（洋々）となった。これをよく（宜しく）のちのちまで（後代）伝え、子孫の教えとすべきである。余は独りではない。敬うべき多くの人がいる。あわせて（併）國家萬世の慶之ためなり（爲…也）。是於（この機会）に一言述べておく。

明治十八年四月編修
副長官従五位勲八等重
野安釋撰
陸軍大将一品大勲位熾

仁親王懿額
従五位長次（こう…ひかる）書

注記1、重野安釋（やすつぐ） 太政官修史局官吏 日本史・漢学。
2、位階（位） 正一位・従一位から従八位まで十六階、時代によって改正。
3、勲等と位階 1875（明治8）年勲章の等級として勲等（勲一等から勲八等まで）が制定され、さらに翌年大勲位が最上位の勲等となった。勲章の授



きびちよ 債権債務とは

ナンボになっても経験は勉強だが、裁判とか調停などはない方がいい。でも先にお知らせのように調停で呼び出しを受けていたので6日に行つて来た。

▲相手の弁護士は来ていたと言うが、顔は合わさせないで、調停人2人が話を繋いでくれるんだッケ。俺を呼んだ目的は、事故の示談をした後で俺が、原告にあれこれの質問を葉書で出したのがイケナイ事なので、それを辞めさせるのが目的。

▲調停人は、和解条項に、「この和解条項に定めるもののほか何らの債権債務がないことを相互に確認する。」と書いてあって、その債権債務とはお金だけのことではなく、葉書を出す事もダメなのだというのでした。

▲俺の頭で債権債務と

与に当っては、まず相応の勲等に叙した上で勲等に相当する勲章が贈られる。戦後廃止されたが復活した。

4、品 日本では親王・内親王に与えられた位階。一品から四品まで。

5、熾仁（たるひと）親王 持つ肩書が多く明治天皇の信任が厚かった。

6、長次（ちようこう・名はひかる） 豊後国（現大分県）生まれの勤皇の志士、官吏、漢学者 晝家。

は、お金のこと。「俺はユスリでもタカリでもないぜ」と書いてやったんだ。調停で俺の質問に答えると言っていたから、その後は葉書を出していないト。

▲債権債務について説明は無かったかというので、無かったと返事。これで解つたから以後は出さないよ・ト。

▲裁判で納得できない部分は、もっと頑張ればよかったのに・と調停人。あの裁判に2回目があるとは知らなかったト。裁判官が、「この裁判で決着しなければ本裁判になり、時間もお金もかかりますよ」・と言う脅し文句ともとれる殺し文句に納得したのであって、裁判を納得したものではない・と申し上げた。

▲これは調停人には言わなかったのだが、弁護士料は外してやるから・と裁判官が言ったことも。次回は12月25日に。（石川）